



山形市中心市街地活性化基本計画(第4期)

計画期間: 令和8年4月～令和13年3月

【自治体の概要】 人口: 234,133人(うち中心市街地区域: 10,505人)(令和7年10月末時点) 面積: 381.58km²(うち中心市街地区域: 1.48km²)

- ・山形盆地の東南部に位置し、奥羽山脈と白鷹丘陵に囲まれた内陸都市。東縁で仙台市と接しており、県庁所在地が隣接する全国でも珍しい地域。
- ・山形駅前地区と七日町地区の2大商業地区が形成され、両地区を結ぶ「口の字型」の集積が進んで、中心市街地が形成されている。

目指す中心市街地の都市像

歩くほど幸せになるまち

中心市街地の課題

立ち寄り箇所数、滞在時間の増加による消費機会の促進

- ・立ち寄り箇所数・滞在時間・使用金額が少なく、街なかでの消費機会の不足が課題
- ・来街者が、本来の目的以外にも様々な場所に立ち寄りたいと思えるよう、身体性・偶発性・希少性※などの魅力を創出することが課題

※身体性: 実際に五感で体感できること 偶発性: そこではできない体験 希少性: 思いがけない発見や体験

【参考】滞在時間2時間未満51.2%(R6来街者アンケート)

・歩行者通行量(休日10地点) 【目標達成状況】A: 目標達成 22,399人(R1) → 25,383人(R7.12)

新規出店数の伸び悩み

- ・チャレンジスポットの整備や空き物件を好条件化していく支援等、新規出店しやすい環境の創出が課題
- ・好条件な物件の不足を背景とした新規出店希望者とのミスマッチによる新規出店数の伸び悩み

・新規出店数 【目標達成状況】B: 基準値より改善 46件(H28～R1平均×6) → 47件(R2～R7.12)

居住ニーズへの対応

- ・3期計画において、再開発事業や民間のマンション建設により中心市街地の居住者が増加。高まる多様な居住ニーズに応える都市機能の充実化が課題

・転入者数 【目標達成状況】A: 目標達成 4,543人(H26～R1) → 5,183人(R2～R7.12)

中心市街地活性化の方針と目標・目標指標

【にぎわいの創出】心地よい空間形成による賑わいづくり

56事業 (うち国支援46事業)

市民の文化活動の新たな拠点となる市民会館の整備や、世界かんがい施設遺産に登録されている御殿堰を活用した親水空間の創出により、回遊性や滞在時間の向上を目指す。

目標 賑わいの創出

→目標指標 歩行者通行量

【基準値】25,084人(R6)→【目標値】26,875人(R12) [推計値25,687人]

主な事業 新たな市民会館整備事業、粹七エリア整備事業



新たな市民会館と周辺のイメージ

【域内の活力向上】新たな魅力が創出されるチャレンジしやすい環境づくり

21事業 (うち国支援14事業)

街なか出店サポートセンターを中心に、経営相談や物件のマッチング、出店者への補助を行うとともに、公共的空間を活用しチャレンジスポットを創出することで、出店しやすい環境を整備し、新規出店数の増加を目指す。

目標 新規出店の誘導

→目標指標 商店街エリアにおける新規出店数

【基準値】220件(R2～R6合計)→【目標値】260件(R8～R12合計) [推計値190件]

主な事業 中心市街地新規出店等支援事業、粹七エリア整備事業



やまがた街なか出店サポートセンター

【街なか居住の推進】誰もが住みやすいと感じるまちづくり

24事業 (うち国支援20事業)

市民交流スペースと居住空間を一体的に整備する再開発事業を行い、街なかの居住人口増加と交流の場の提供を通じて都市機能を充実させ、中心市街地への移住と定住を促進する。

目標 居住環境の向上

→目標指標 中心市街地の居住人口

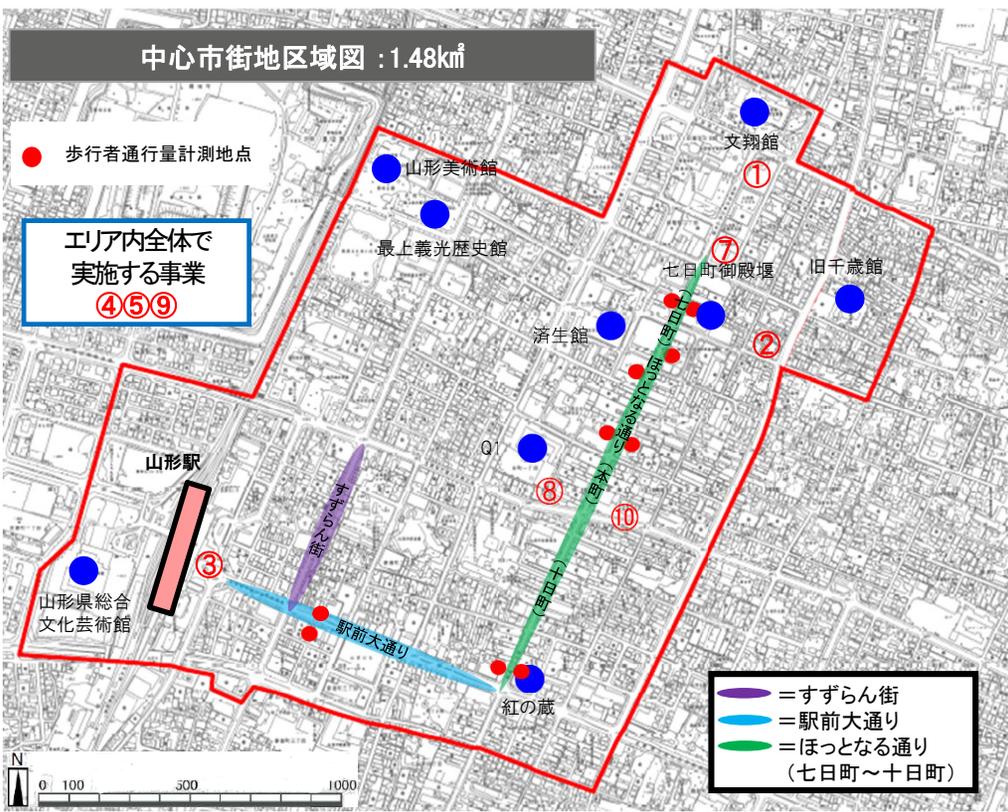
【基準値】10,542人(R6年度)→【目標値】10,756人(R12年度) [推計値10,448件]

主な事業 本町第1ブロック南地区地域生活拠点型再開発事業



交流と居住の空間を一体的に整備(完成イメージ)

目標達成に資する主な事業



新たな魅力が創出されるチャレンジしやすい環境づくり

- ⑤ 中心市街地新規出店等支援事業**
 新規出店事業者に対して、「やまがた街なか出店サポートセンター」での経営相談等で必要とされた改装費用を一部補助する。【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】
- ⑥ 粹七エリア整備事業(再掲)**
- ⑦ 七日町第8ブロック南地区暮らし・賑わい再生事業**
 山形銀行本店の建て替えに併せて、シェアスペースやイベントに活用できる広場等、公益的機能を有した施設を整備する。令和8年度より供用開始。



心地よい空間形成による賑わいづくり

- ① 新たな市民会館整備事業**
 旧県民会館跡地を移転先として新たな市民会館の整備を行い、市民の文化活動の拠点という役割に加え、街なかの回遊性向上による賑わいの創出を図る。
 【社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国交省)】
 【中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)】
- ② 粹七エリア整備事業**
 諏訪町七日町線事業と併せた区画整理を実施して、御殿堰を復元し、親水空間を整備することによって、回遊性と滞在性の向上を図る。
 【都市構造再編集中支援事業(国交省)】
- ③ 日本一の観光案内推進事業**
 山形市の観光及び中心市街地の玄関口である山形駅周辺に、案内所そのものが訪れる目的となり、来訪者だけでなく地域住民や観光事業者にとっても価値を感じられる「日本一の観光案内所」の整備を行う。【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】
 【地域未来交付金(内閣官房・内閣府)】 【都市構造再編集中支援事業(国交省)】
- ④ やまがた秋の芸術祭・やまがた冬の芸術祭**
 市民等が多彩な文化芸術に参加したり身近に触れる機会を創出するイベントを開催する。【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



誰もが住みやすいと感じるまちづくり

- ⑧ 本町第1ブロック南地区地域生活拠点型再開発事業**
 本町第1ブロック南地区において、市民交流スペースを伴った共同住宅を整備する。
 【スマートウェルネス住宅等推進事業補助金(国交省)】
 【防災・省エネまちづくり緊急促進事業補助金(国交省)】
- ⑨ 地域大学との連携による街なか居住推進事業**
 空き家・空き店舗を活用し、学生の居住環境を整備することで、まちなかの居住人口の増加を図る。【公的賃貸住宅家賃対策調整補助金(国交省)】
- ⑩ 雪につよい消雪道路整備事業**
 国道112号～五小西交差点区間の歩道を消雪化し、冬期間において安全に通行できる環境を整備する。
 【防災・安全交付金(道路事業)(国交省)】
 【社会資本整備総合交付金(道路事業)(国交省)】

